

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学習内容	学級経営	話をよく聞き、児童一人一人の思いを受け止めさせる。	友達といっしょに過ごしながら、集団生活のルールを学ばせる。	「自尊感情測定尺度」(1回目)で学級の児童の実態を把握する。	個人面談で子どもについて共通理解を図る。	2学期の指導の方向性を検討する。			友達と仲良く遊ぶ活動を通して自尊感情を高める。	「自尊感情測定尺度」(2回目)で学級の児童の実態を把握する。 3学期の指導の方向性を検討する。	自分らしさを受け止め、2年生への意欲を高める。 この1年間での自分や他者のよさの、伸びや高まりを実感できる指導を実施する。		「自尊感情測定尺度」(3回目)で学級の児童の実態を把握する。	
	各教科	生活「ともだちたくさんつくろう」遊びを通じて友達と交流し、クラスに親しみをもたせる。	国語「えをみてはなそう」絵を見ながら、ペアで話して伝え合うよう指導する。 国語「わけをはなそう」わけの話し方を知り、楽しく伝え合うよう指導する。	国語「おもいだしてはなそう」体験したことを思い出し、グループで話させる。 国語「たからものを おしえよう」自分の大切なものについて話し合わせる。	国語「すきなこと ななに」自分の好きなことを書いて、読み合わせる。 国語「こんなことを したよ」知らせたいことを絵日記にかいて交流させる。		国語「なつやすみのことを はなそう」夏休みにあったことを発表し、交流させる。 国語「しらせたいな、みせたいな」観察したものを知らせる文を書き、交流させる。		国語「ことばを見つげよう」文の中に隠れた言葉を探し言葉遊びの文を作って交流させる。 図工 学習発表会に向けて自分の思いを生かし、楽しみながら作品を作り、友達の良いところを伝え合わせる。		国語「ともだちに、きてみよう」インタビューをして、紹介し合えるようにさせる。	生活「もうすぐ2年生」年長児と交流させる。新しい1年生を迎える準備をしようとする。 音楽「1年生を迎える会の練習をしよう」1年生を迎える会の発表に向けて、出し物を練習しようとする。	国語「いいこといっぱい、1年生」 「おもいでアルバム」を作り、よさを交流させる。	
	道徳		感謝 日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。	生命尊重 生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。	思いやり、親切 身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。		勤労 みんなのために、自分のできる事は積極的に行おうとする態度を育てる。	信頼友情 友達と仲よく助け合っていくようにしようとする態度を育てる。			自然愛、動植物愛護 やさしい心で動植物をかわいがり、生き物を大切にしようとする態度を養う。			愛校心 友達といっしょに自分たちの学級を大切にしようとする心情を育てる。
	特別活動	係活動 仕事を考え、自分たちで係を作れるようにさせる。 1年生を迎える会 久我山小の一員としての気持ちを高め、希望を持たせる。	運動会 表現・団体競技を通じて、友達と協力して取り組み、小学校初めての運動会を楽しませる。 2年生との学校探検 2年生に教えてもらいながら、学校探検をする。	食育 ソラマメのさやむき 給食の食材準備をすることで、学校の役に立っていることに気付かせる。 6年生との合同スポーツテスト	<通年>絵手紙活動 絵手紙での交流を通して、自分の行動が人の役に立っていることに気付かせる。 <通年>縦割り班活動 異学年交流を深め、思いやりの心を育てる。	運動会 表現・団体競技を通じて、友達と協力して取り組み、小学校初めての運動会を楽しませる。 学芸会 平素の学習を総合的に発表することにより、児童の自主的・創造的・協力的な態度を養い、学校生活を楽しく豊かなものに育てる。 学習発表会 自分が取り組んだ作品を発表する。鑑賞を通して、友達や上級生の作品のよさを気付かせる。	地域清掃、ユニセフ募金 地域などに目を向け貢献意欲を高める。 人権カレンダー 友達の存在の大切さや、多くの人が関わり生活していることに気付かせ	新しい1年生を迎える準備をしよう 1年生を迎える会の発表に向けて準備できるようにする。 6年生を送る会 卒業生に、今までの感謝の気持ちを伝えられるようにする。						
指導方法	算数 同じ問題を複数にあて、発表の機会を増やす。ただ答えを求めるだけでなく、算数的活動を取り入れる。間違っても責めず、認め合う関係を作る。		音楽 鍵盤ハーモニカの進度に応じて教師がチェックをし、シールを貼ることで意欲付けをする。		図工 作った作品を見合い、いいところを伝え合わせる。		体育 上手な児童がお手本を見せる「ミニ先生」になり、自尊感情を高める。							
教室環境 言葉掛け	話を聞いて受け止める まず思いを受け止め、返してあげる。	ポジティブな価値付け 問題点以上に、友達の良い点を周りの児童にも分かるようにしていく。	言葉掛けの工夫 「～はだめ」× 「～しよう」○	ポイントを明確に褒める 手の挙げ方、返事、声の大きさ、発表できたことなどを褒める。	褒め方の工夫 場：個別、全体 伝え方：あっさり、じっくり 児童の実態に合わせて、場や伝え方を工夫する。	同じ意見の許容 同じ問題を複数の児童にあって、発表の機会を捻出する。少しでも違いがあればそこを指摘しほめる。	話の聞き方の指導 姿勢、拍手、うなずきや相槌の指導を行い、発表しやすい雰囲気を作る。							

■ 荻窪小学校での取り組み

■ 久我山小学校での取り組み

□ 荻窪小学校・久我山小学校共通の取り組み